

「鳥獣被害対策の推進」の進捗状況

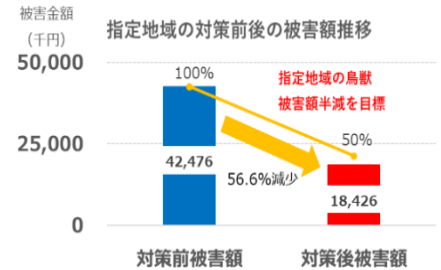
農山漁村振興課鳥獣対策室

○令和6年度末の進捗状況

1. 被害ゼロに向けた取組

- R5年度指定13地域、R6年度指定7地域の計20地域で鳥獣被害の現状把握、指導を実施
- 対策を実施した地域で被害額56.6%減少

■被害額 対策前 42,476 千円 → 対策後 18,426 千円



2. 捕獲の担い手確保・捕獲体制の構築

- 事前講習会17回、免許試験13回（県内8地域）実施
- 合格者（新規免許取得者）307名
- 新人ハンター217名を対象にわな架設研修会を実施
- 捕獲技術の習得を進めるため、免許取得から5年以内の新人ハンター54名を対象に、実践的な研修を実施

■R2～R6の合計新規免許取得者数 1,550名

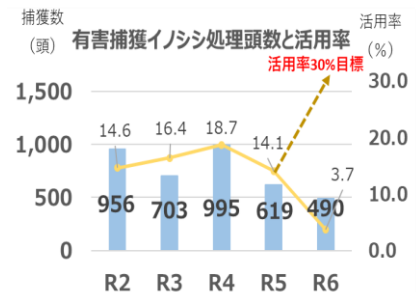


3. 捕獲個体のジビエ活用

- 加工処理施設に対して、アンケートを実施し、今後の事業目標や設備の拡充などの希望、課題などを調査
- 捕獲した個体の処理の一環として、美郷町では加工処理施設が直接捕獲現場へ個体を回収する取組を実施
- 豚熱感染が確認された区域でも、スムーズにジビエ活用ができるように、加工処理施設に対して、衛生対策の実地研修（OJT）と豚熱の検査支援を実施

■R6 イノシシ有害捕獲個体の活用率

有害捕獲頭数（猟期外） 13,433 頭 処理頭数 490 頭 (3.7%)



4. 中国山地のニホンジカ対策

- 市町村の捕獲体制整備を促すための重点捕獲事業を令和6年度は4市町で実施（雲南市、浜田市、益田市、津和野町）
- 中国山地沿市町に約350台のセンサーカメラを設置し、撮影されたニホンジカの出没頻度を基に生息密度調査を実施
- 生息密度が高い地域で市町村と連携した広域的な捕獲を実施（邑南町）

■R6 捕獲数 1,084 頭 (R5 951 頭)

■R6 被害額 5,449 千円 (R5 4,319 千円)

